

Metashapeによる空中写真からのDSM・3Dモデル生成

企画趣旨

国土地理院が公開している地図・空中写真閲覧サービスからは、様々な時代の日本の国土の姿が写された空中写真をダウンロードできます。これらの空中写真データを活用して、DSMや3Dモデルなどを生成することで、PLATEAUでは把握できない、過去の時代の3次元的な解析や可視化が可能になります（これまでに作成した3Dモデルはこちらのビューワからご覧いただけます⇒<https://tkirimura.github.io/3dviewer/ltm/landscapetimemachine.html>）。

本セッションでは、フォトグラメトリソフトのMetashapeを用いて、400dpiの空中写真データから、位置精度の高いDSM、オルソ写真、3Dモデルなどを生成する作業手順の解説を行います。昨年、一昨年ともに、おかげさまで好評を得ました。内容についてはアップデートを行いますので、昨年参加された方も、Metashapeをまだ十分に使っていないという方も、ぜひご参加ください。



富山駅周辺

（上：1975年・下：2021年）

日時 2025年11月2日（日） 09:00～10:40 ※大会2日目です。

場所 会場F（富山大学 五福キャンパス）

申し込みフォーム <https://forms.gle/KePvVyXjuFKA9LoP7>



お申込みはこちらから

必要なソフト Agisoft Metashape Professional 2.x

※なるべく最新のものをご用意ください。

※30日無料の評価版でも作業は可能です。当日の開始時間までにインストールしておいてください。

※パソコンはご持参ください。マウスがあるほうが便利です。

お問い合わせ先 桐村 喬（京都産業大学） kirimura@cc.kyoto-su.ac.jp